

読売新聞 & 早稲田大学 プロフェSSIONALS・ワークショップ 2022

「ニュース・リテラシー」を広めるには？

～報道機関への提言を考える～

テーマの概要

現代の社会は情報があふれています。とりわけインターネットとソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）の急激な普及によって、情報を発信するメディアの形態が多様化し、事実とはほど遠い「フェイクニュース」や、著しく偏った言論が世界中で飛び交うようになりました。

こうした状況下で、社会をよりよくするための議論を重ねるには、前提として一人一人が様々な情報の中から正確で信頼できるニュースを見分け、内容を読み解く必要があります。その力こそが「ニュース・リテラシー」です。

読売新聞社では、子どもたちにニュース・リテラシーを身につけてもらう教育活動に乗り出しました。小中学校や高校でモデル授業を試み、教室で活用できる教材の開発にあたっていますが、さらなる推進のためにどんな取り組みをすればいいか、若い皆さんに提言してほしいと思っています。

提言をするには、ニュースがどのように生まれるのか、知ることも大切です。このため、取材して記事を書くことを体験します。読売新聞社やニュースパーク（日本新聞博物館）の見学も予定しています。

ニュース・リテラシーを考えることは、就職活動や将来社会で活躍する上で必ず役立つでしょう。特にマス・メディアや教育に興味がある人にはお勧めです。皆さんの応募をお待ちしています。

読売新聞社とは

読売新聞社は、世界最大部数の日刊紙を発行する、日本有数の報道・言論機関です。全国に取材網を張りめぐらし、海外にも多数の取材拠点を置いています。本ワークショップは、若い皆さんにジャーナリズムに関心を持ってもらおうと、2019年度から毎回テーマを変えて実施しており、今年度で4回目になります。

プロフェSSIONALS・ワークショップとは

企業が提示した課題について、早稲田大学の学生たちが解決に向けた提言に取り組みます。本ワークショップでは、読売新聞記者の指導のもと、ニュース・リテラシーの模擬授業を受けたり、取材を体験したりしながら、具体的な提言をまとめ報告してもらいます。通常の就業体験インターンシップとは異なる実践型の社会連携教育プログラムです。

募集概要

募集期間	2022 年 9 月 12 日（月）17:00～9 月 25 日（日）23:59 [期間厳守]
募集対象	早稲田大学に所属する正規学部生・大学院生（修士課程）（学部、専攻、学年問わず）
応募条件	原則として事前説明会および全公式日程への参加が可能なこと
募集人数	10 名程度
応募方法	以下の手順もしくは右の QR コードのリンク先から申請してください ① MyWaseda にログイン ② お知らせ一覧から「プロフェッショナルズ・ワークショップ 2022 秋冬編」を検索 ③ 「プロフェッショナルズ・ワークショップ 2022 秋冬編応募フォーム」から「申請」をクリック ④ 必要事項（志望理由、メディアの課題、ニュース・リテラシー向上案、面接選考希望日時など）を入力して申請 ■ 事前説明会（オンライン・対面、質疑応答可） 9/15（木）11:00～11:30 参加方法等、詳細は配信メール中に案内 ※当日参加できない方は収録録画を視聴いただきます（事務局へご連絡ください） 
選考方法	① 書類選考：志望理由などをもとに選考します 書類選考通過者には、面接日時を 9 月 28 日（水）までに Waseda メールにて通知します ② オンライン面接選考：9 月 29（木）9:30～12:00、 9 月 30 日（金）および 10 月 4 日（火）の 9:30～16:00 うち 30 分程度 面接内容をもとに総合的に選考します 面接選考の結果は、10 月 5 日（水）までに Waseda メールにて通知します
注意事項	①当ワークショップは一般授業とは扱いが異なります。成績評価・単位認定等はありません。 ②当ワークショップは原則として対面で活動します。主に早稲田キャンパスにて行いますが、新型コロナの感染状況をみながら、読売新聞東京本社（千代田区大手町 1-7-1）など学外においても実施する場合があります。その場合は、事前に案内ならびに注意事項の説明を行います。 ③【重要】募集要項に記載されている日程は、ワークショップの進捗状況に応じて変更する可能性があります。また、公式日程以外にも、自主的にミーティングやリサーチなどを実施する機会が多く、期間中は当ワークショップの活動が中心となるよう、スケジュール管理はくれぐれも注意してください。 ※公式活動日は終了後の時間も余裕をもって確保してください。 ④新型コロナの感染状況を鑑みて、オンラインで活動する場合があります。その場合、「公共の場所では参加しない」「ヘッドセットなどを装着する」など、第三者に実習内容を知られることがないよう措置を講じてください。 ⑤学外で活動を行う場合、早稲田大学の学生補償制度（損害補償・賠償責任補償）に加入いただきますが、新型コロナウィルスは補償の対象外となります。 ⑥参加にかかる費用（オンラインでグループワークやインタビューを実施する際に必要な端末の購入費、通信費、対面で実施する際の交通費、食事代等）は、参加者による自己負担です。 ⑦ワークショップ実施日と重複する科目等を欠席した場合、公欠扱いとはなりません。 ⑧このプログラムは、グローバルエデュケーションセンター実践型教育プログラム「地域連携実践コース」の対象プログラムです。 ⑨選考結果に関する問い合わせにはお答えいたしかねます。あらかじめご了承ください。
問合先	教務部教育連携課（プロフェッショナルズ・ワークショップ担当） メールアドレス：propro@list.waseda.jp ※問い合わせの際には、件名のほか所属学部／研究科、学年、氏名を必ずメール本文に記載ください

ワークショップスケジュール（公式日程）

	日程		内容
10月	第1回	10月11日（火） 18:15～20:15	自己紹介、記者との座談会、フリーディスカッション、 レクチャー「新聞の読み方」
	第2回	10月18日（火） 18:15～20:15	読売新聞社見学、フリーディスカッション、 レクチャー「ニュース・リテラシー」 【大手町】
	第3回	10月25日（火） 18:15～20:15	模擬授業を体験
	—	随時	ニュースパーク（日本新聞博物館）を各自見学 【横浜市】
11月	第4回	11月1日（火） 18:15～20:15	フリーディスカッション「提言に向けたアイデア」、 取材演習
	—	随時	グループに分かれて体験取材 【東京近郊】 提言に向けたリサーチ
	第5回	11月8日（火） 18:15～20:15	グループワーク「リサーチ結果を持ち寄って」
	第6回	11月15日（火） 18:15～20:15	グループワーク「リサーチ結果を持ち寄って」 グループワーク「記事を構想する」
	第7回	11月22日（火） 18:15～20:15	グループワーク「提言パワポの修正」 グループワーク「原稿の修正」
	第8回	11月29日（火） 18:15～20:15	グループワーク「提言パワポの修正」 グループワーク「原稿の修正」
12月	第9回	12月6日（火） 18:15～20:15	グループワーク「発表リハーサル」 グループワーク「原稿の完成」
	第10回	12月13日（火） 18:15～21:00	最終報告会・提言発表 ※最終報告会終了後、振り返り会（1時間程度） を実施するため、解散時刻は 21:00 頃となります。
	予備日	12月20日（火） 18:15～20:15	※進捗次第で開催

※各回の終了時刻は目安です。自主的な活動として時間を延長して実施いただくことがあります。

※公式以外の日程は、必要に応じて参加学生同士で相談し、自主的に集まる日程やオンラインでの会議等のスケジュールを決め、ワークショップを進めていきます（学生同士の話し合いに大学職員や企業関係者が参加することもあります）。

※形式、場所はコロナの感染状況に応じて適宜変更の可能性があります。

※全てのワークショップ活動終了後、振り返りならびに本ワークショップに関するアンケートに回答いただきます。